

# INTARFRM 開発技術者人材像

策定元(社名)	富士通INTARFRM推進部	策定主査	岸	更新日・版数 初版	2013/09/30(第1.1版) 2010/11/12(第1.0版)
---------	----------------	------	---	--------------	--

**概要・特徴・狙い**

**概要**  
INTARFRMを適用するプロジェクトにおいてプロジェクトメンバーの一員としてプロジェクトメンバーの指導を行い、アプリケーション構築を責任を持って遂行する人材を「INTARFRM開発技術者」として定義する。

**ねらい**

- INTARFRMを活用できる人材の持つべきスキルレベルを明確化し、対象当該人材の早期育成と増加を計る。
- INTARFRMを活用できるスキル保有者の増加により、SEのビジネス活動(SI受託開発、再利用素材開発/PKG商品開発、SaaS商品開発)へのINTARFRMの適用率の向上を図ると共に、INTARFRM適用プロジェクトの品質と生産性を向上させトラブル防止に繋げる。

**役割・範囲・フォーメーション**

**役割**  
INTARFRM適用プロジェクトにおいて、プロジェクトの業務アプリケーション開発を担務し、アプリ開発の生産性向上、品質向上を担う。業務開発チームの技術的課題を開発支援チームとともに解決に取組み、アプリケーション構築(設計、開発、テスト)を責任をもって遂行する。

**フォーメーション概要**

```

    graph TD
      PM[PM 1名] --- B[業務 1名]
      PM --- KS[開発支援 0-1名]
      PM --- SB[システム基盤 1-2名]
      B --- EXP[エキスパート]
      B --- SP[スペシャリスト 初級]
      KS --- ARCH[アーキテクト]
      KS --- EXP2[エキスパート スペシャリスト]
  
```

**作業範囲概要**

	VP	SP	RD	UI	SS	PS	PT	IT	ST	OT	OM
経営											
業務											
システム責任											
アプリ											
アプリ基盤											
システム基盤											
運用・保守											
移行・展開											
開発支援											
プロマネ											

※ INTARFRM開発技術者: VP, SP, RD, UI, SS, PS, PT, IT, ST, OT, OM (Green box)  
 ※ INTARFRMアーキテクト: UI, SS, PS, PT, IT, ST, OT, OM (Yellow box)

**範囲・フォーメーションは、資料「別紙1. フォーメーションと対象作業」を参照。**

RANK	人材像定義・スキル・経験・実績・資格	前提となる経験・実績・資格
------	--------------------	---------------

**上位(プロフェッショナル)**

—

**一人前(エキスパート)**

INTARFRMを適用した開発作業を独力で全て行うことができ、INTARFRM適用プロジェクトにおいて、受託工程に応じた範囲の開発作業をメンバーとともに責任を持って遂行する。

**主な役割は以下のとおり。**

商 談 U I	受注、商談活動 ①顧客要求とINTARFRM開発標準のフィット&ギャップ分析(仕様範囲への誘導) 潜在要件発掘、ハードウェア/ミドルウェア考慮、高品質・短納期への布石など ②アプリケーション構築作業の見積りと作業計画(教育受講計画など含む)の立案 ③アプリケーション構築作業手順・標準検討と設定(開発支援チームと共同) (設計情報管理方法、入力規則・手順書作成、画面標準定義、適用方法洗い出しと設計検討など)
S S O T	アプリケーション設計作業 ①全体設計、個別設計
	アプリケーション構築作業 ①工程作業の遂行(設計、開発、テスト作業)、次工程作業の準備 ②設計者、開発者の育成、フォロー(必要に応じて) ③開発支援チームと協力して、標準化の順守(チェック、指導)、開発環境等の用意 ④チーム内進捗、品質の管理、担当者成果物のレビュー実施 ⑤見積りの評価、見直し

・「エキスパート」代行 × 2~3回

・必要なスキルおよびスキルレベルは、「別紙2. スキルと人材の関係(工程別)」を参照。

**スペシャリスト**

INTARFRM適用プロジェクトにおいて、アプリケーション作成(SS-IT)を確実に遂行させることが出来る人材(対象言語については1つ以上)。

- ①INTARFRMの知識を有すること(設計ツール基礎編またはフレームワーク基礎編(Rapid Edition)と開発編1科目の修了済、または同等スキルを有する)。
- ②設計ツール(Design Facility)を用いた設計作業、開発ツール(Development Facility)を用いたプログラム開発作業が行える。
- ③INTARFRM開発標準(SDEM実践標準およびシステム開発キット)の知識・スキルを保有(設計編の修了済、または同等スキルを保有)し、開発標準を用いた開発作業が行える。
- ④一人前(エキスパート)の指示を受けながら主体的に作業が行えること。

・必要なスキルおよびスキルレベルは、「別紙2. スキルと人材の関係(工程別)」を参照。

【経験・実績】  
・不要

**初級**

INTARFRM適用プロジェクトにおいて、アプリケーション作成(PS-PT)を指導を受けて担当することが出来る人材(対象言語については1つ以上)。

- ①INTARFRMの基礎知識を有すること(設計ツール基礎編またはフレームワーク基礎編(Rapid Edition)と開発編1科目の修了済、または同等スキルを有する)。
- ②設計ツール(Design Facility)を用いた設計情報の入力作業、開発ツール(Development Facility)を用いたプログラム開発作業が行える。
- ③一人前(エキスパート)・スペシャリストの支援を受けて作業が行えること。

・必要なスキルおよびスキルレベルは、「別紙2. スキルと人材の関係(工程別)」を参照。

【経験・実績】  
・不要